

名古屋大学大学院情報学研究科・教授 公募要領

1	募 集 件 名	教授の公募	
2	所 属	大学院情報学研究科 価値創造研究センター (知能システム学専攻 システム知能情報学講座)	
3	募 集 内 容	[職務内容 (業務内容、担当科目等)]	
		<業務内容>	
		<ul style="list-style-type: none"> 情報学研究科附属価値創造研究センターにおいて、研究科内外との横断的な教育研究を先導する。 情報学研究科および情報学部において、人工知能分野を中心とする知能情報学の教育研究を推進する。 情報学研究科および知能システム学専攻の運営に積極的に取り組む。 情報学研究科知能システム学専攻の講義および大学院学生の指導、情報学部コンピュータ科学科の講義および学生の指導、全学教育における講義を担当する。 	
		<担当授業科目>	
		1) 大学院 <ul style="list-style-type: none"> 博士前期課程：データアナリティクス、人工知能システムなど特論、セミナー、演習、修士論文指導 等 博士後期課程：セミナー、博士論文指導 等 	
		2) 学 部 <p>専門分野に関連する専門系科目、全学教育科目、卒業研究指導 等</p>	
		[勤務地] 愛知県名古屋市千種区	
		[募集人員] 教授・1名	
		[着任時期] 2025年1月1日以降のできるだけ早い時期	
4	募 集 研 究	大分類	情報通信
	分 野	小分類	知能情報学
5	勤 務 形 態	常勤 (任期あり (2027年3月31日まで)、その後審査を経て任期なし)	

6	応募資格	<ul style="list-style-type: none"> ● 博士の学位を有する方 ● 日本語による業務遂行が可能なコミュニケーション能力を有する方 ● 学部・大学院における教育に熱意と責任感を持ち、協調性をもってあたることができる方 ● 大学運営に関わる業務遂行に積極的に関与できる方 ● 知能情報学分野に精通しており、当該分野を国際的に牽引でき、共同研究プロジェクト遂行の実績を有する方 ● 情報学研究科附属価値創造研究センター長として、様々な横断的教育研究を先導することにより、研究科のミッション達成に貢献できる方
7	待遇	<ul style="list-style-type: none"> ● 東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ● 給与は本学において定める年俸制とする。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm
8	応募期間	2024年4月1日～2024年5月31日
9	応募・選考結果通知連絡先	<p>[応募方法（提出書類の送付先）]</p> <p>以下の書類一式（推薦状を除く）を一つのPDFファイルとしてまとめて、後述の応募フォーム内に記されているアップロードリンクから送付してください。推薦状の提出は、下記の指示通りにしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 履歴書（写真付き） (2) 研究業績の一覧（著書、学術論文誌、国際会議、査読有無などを区分して記述） 主著者（筆頭著者）ではないが、責任著者（corresponding author）となっているものに○印を、国際共著論文（海外大学・機関との共著論文）に*印を付してください。 (3) 主要論文別刷（主要なもの5編以内、コピーも可） (4) これまでの研究概要（A4用紙2ページ以内） (5) 今後の研究計画（A4用紙1ページ） (6) これまでの教育実績（博士課程学生の指導歴や人数などを含む。）およびマネジメント実績（組織におけるリーダーシップの実績、共同研究プロジェクトのプロデュース経験など）の概要（A4用紙2ページ以内） (7) 教育についての抱負（A4用紙1ページ） (8) 附属価値創造研究センター長としての抱負（A4用紙1ページ） (9) 獲得した外部資金（名称、研究課題名、期間、研究費総額、代表者・分担者の別などを示すこと。）の一覧

		<p>海外大学・機関との共同研究（研究交流事業を含む）の研究費に◎印を、海外機関（海外の学術研究支援機関、国際機関等）から研究費を獲得している場合は※印を付してください。</p> <p>(10) その他選考に役立つ情報（学会および社会貢献、受賞、特許、研究開発成果の社会実装の実績、プログラミングコンテスト・ソフトウェア開発実績など）</p> <p>(11) 応募者に関するGoogle Scholar Citationsの写し（トップページのみ）</p> <p>(12) 応募者の業績について問い合わせることのできる方2名の氏名および連絡先、ならびに推薦状。推薦状（書式任意）は、応募フォームに記載されているとおりに、推薦者から直接、下記問い合わせ先アドレスにe-mailで送るようお伝えください。</p> <p>(13) 類型該当性の自己申告書（「10 その他」参照）</p> <p>応募期間内（必着）に以下のリンク先の応募フォームから応募をお願いします。提出書類のアップロード方法は、応募フォーム内に記載しています。 https://forms.office.com/r/sxzrAnKYDv</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>（右の QR コードからもアクセス可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 問い合わせ先： <ul style="list-style-type: none"> 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 大学院情報学研究科 知能システム学専攻 教授 東中竜一郎 TEL: 052-789-5875 e-mail: higashinaka AT i.nagoya-u.ac.jp <p style="text-align: right;">（ATを@に代えてください）</p>
		<p>[選考内容（選考方法、採否の決定）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 書類選考の上、面接を実施します。 ● 応募者には電子メールで連絡を行います。
10	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ● 名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ● 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ● 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ● 面接に要する交通費は支給しません。

		<ul style="list-style-type: none">2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。 <p>これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。様式は以下の URL から取得してください。</p> <p>https://www.i.nagoya-u.ac.jp/resume/</p>
--	--	---